

VOLTCOMPANY.

瀬戸の

成人向

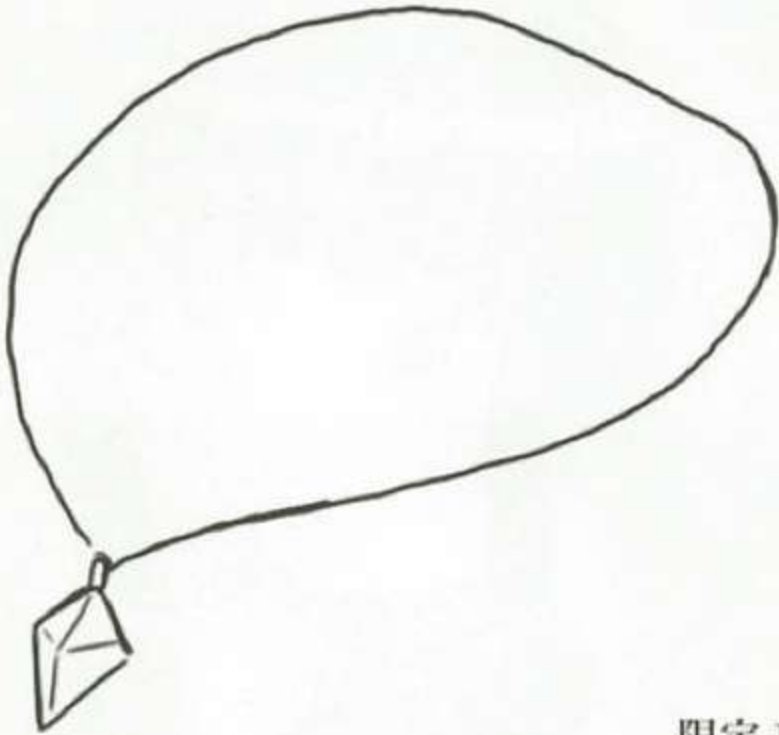

尻嫁

紀委員

交通安全

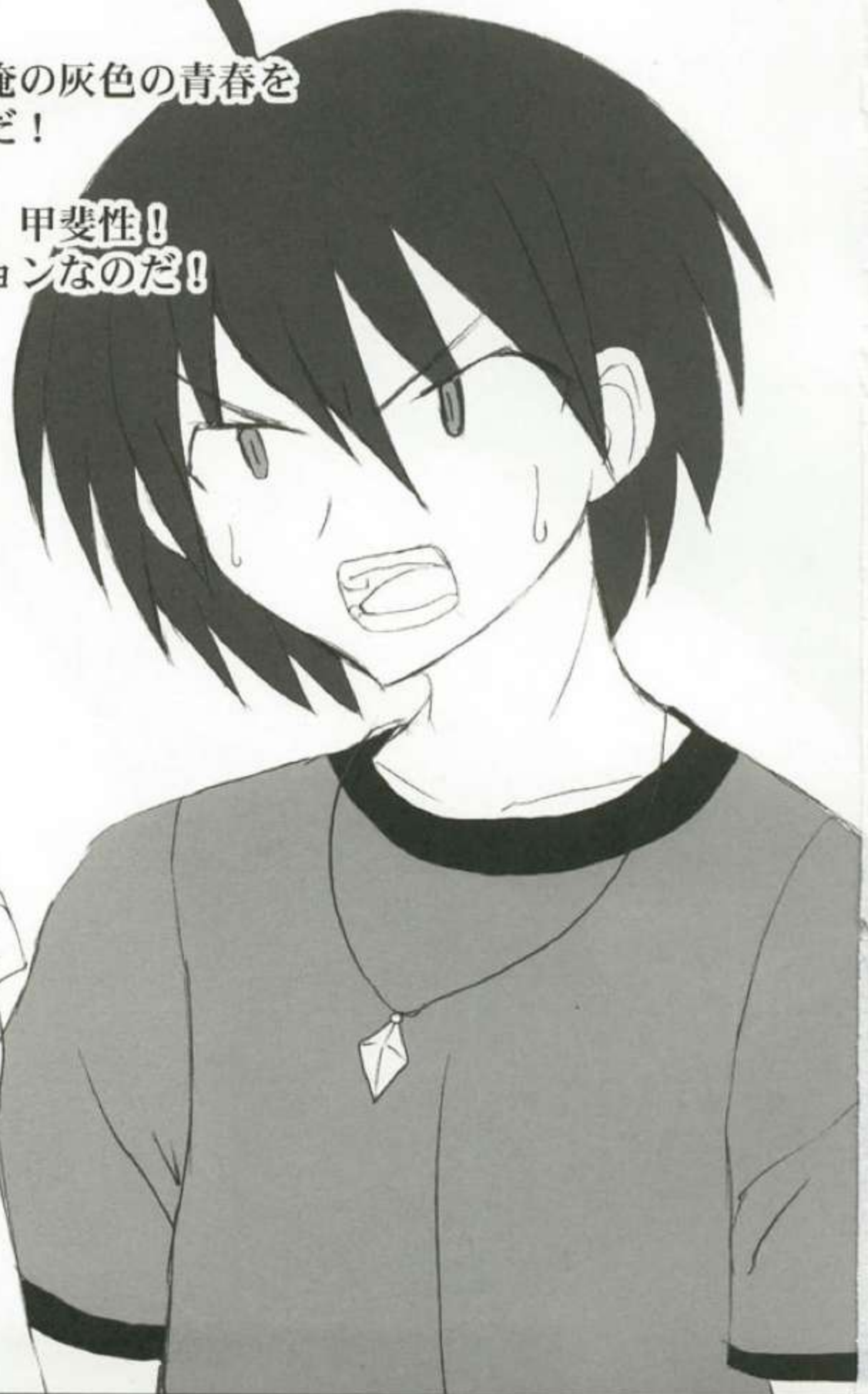


プロローグ

商品NO, 000007				
多機能ネックレス マジカルチャーム				
モテないとお嘆きの その貴方！ これさえ身に付けば 魔法の石の力でどんな娘も メロメロ！ あっという間に入れ食い 間違いなしです！ さあ、お電話は今、すぐ！	限定10セット			
価格¥21,000				
送料¥630				ST080-SHOP000

か…買っちゃったぜ・・・！いや、俺の灰色の青春を
 ピンク色にするためには仕方ないんだ！
 男として当たり前のこと！
 これは決して浮気ではない！…そう、**甲斐性！**
 男として磨きをかけるための**ミッションなのだ！**
 俺は今、男坂を登り始めたのだ！

(でもコレ本当に効くのかな…)



しらぬい

あけの

■ 不知火 明乃

—暗い体育倉庫に二人きり

「し、不知火さん、一体俺に何の用？」

「な…」

「な・・・？」

「悩ましい…」

そうつぶやくと不知火さんは
いきなり服を脱ぎはじめた。

「しっ不知火さん!？」

「だ、黙れ満潮永澄！
勘違いするんじゃない！
ただ…その…お前に特訓の
手伝いをしてもらうだけだ」
「え？」
「普段、すぐに人魚の姿に
戻ったりしないための
特訓だ！」

「え…それで俺は何をすれば？」


「それは…その…わ、私の…」

不知火さんは顔を真っ赤にして
大きな声で叫んだ。

「私の肛門を責めてくれっ!!!」

「ええ～～っ!??」

(これって…やっぱり
あの石のせいなのか…?)



「ほ、ほら満潮！さっさとしろ！」
不知火さんはそう言うと、こちらに
向かってお尻を突き出した。
「うわあ…これが不知火さんの…」

真っ白な桃尻の中にわずかに色づいた
不知火さんの肛門がひくついている。

「あ、あまりじろじろ見るな！」

「ホントにいじってもいいの？」
「こ、肛門括約筋を鍛えるのが
耐久力をあげるのに一番効果があるのだ！
いいから黙ってやれ！」

「じゃあ遠慮なくっと…」
「はうっ♥」
「不知火さんの中…あったかいよ」
「ば…馬鹿者…余計な事を…んうっ♥」

「ほ、ほら、もっと肛門に力をいれないと人魚に変わっちゃうよ？」
「んうっ んっ…くっんっ♥」

不知火さんの太ももに水をかけると肛門に差し入れた指がきゅんきゅんと締め付けられる。

(魔法の石のせいとはいえ…不知火さんにこんな事できるなんて夢みたいだ…)

「ほら頑張って不知火さん」
「くうっ… ゆ、指を動かすなっ」
「でも責めて欲しいって言ったのは不知火さんじゃないか」
「そっそれはそうだがっ…んああっ♥」

こ、これは頼めばいけるかも・・・
「しっ不知火さんっ！俺のも口でしてよっ」
「わ、わかった…やむを得ん…」

んっ…

んむっ…

(うっわあ～不知火さんが俺のチンポなめてるよ…！)

不知火さんのおしりの穴やわらかいね

んっ…
ひあっ…

あっ♡

ふああっ…
あむ…♡

「こ、こら！誰が乳を揉めと言った！」
「あんっ …や、やめ…はんっ♥」

「今更そんな事言われてもっ
俺だって男なんだ！」
「こんな状況でガマンできるわけないよっ」

「あっ…その…ヘンなモノを尻に
擦り付けるのはやめろっ…」

あっ…

あまり強く
握るなっ…

んあっ…

もじ

もじ

「不知火さんっ俺っ…
不知火さんの中に入れてたいっ！！」
「なっ何を言って…んうっ♥」

「ねっねっいいでしょ不知火さんっ！
先っほだけでいいからっ！？」
「うっ…わかった…す、少しだけだぞっ…
はうんっ…♥」

狭い体育倉庫に粘液質な音が響いている。
不知火さんの肛門に出し入れするたびに、ねっとりとしごきたでられる快感が腰を昇ってくる。
「しっ不知火さんのお尻…きつくて最高だよっ!!」
「んあっ…あっ… そっそんなに激しく動かすなっ…」

「そんな事言たって不知火さんだっ腰振ってるじゃないか」
「ちがっ…違うっ…私は…んはあっ♡」



あんっ…はっ…
はんっ…あっ…♡

あつ…くうっ…
んあああああつ♡

あつ

あつ

「はふ…んっ…んむ…♥」
「不知火さんよっほどチンポが気に入った
みたいだね。良かったらこれから毎日
特訓に付き合ってあげようか？」

「んむうう…たっ頼むっ…ま、毎日私に
これを舐めさせてくれっ♥んむっ♥」

♡♡

♡♡ ♡♡

♡♡♡♡



ぜにがた まわり

■ 銭形 巡

「ぶびびびびび〜っ！！
こら〜っ永澄君！学校での
不純異性交遊は禁止よっ！！」

不知火さんとのいけない特訓を
終えた俺に笛の音が鳴り響いた。


見るとそこにはちんちくりんの
鬼風紀委員こと銭形巡が。

「が、学校であんな事していいと思ってるの！？
しっかり巡が目撃しちゃったんだからいまさら
逃げられると思わないでよ！」

「巡が社会のルール教えてあげよっか！？」

「うわっま、巡！？ち、違うんだコレはその…」
「うるさ〜い！言い訳無用！」

「今日という今日は徹底的に締め上げてあげるわ！」
(ヤバイ！巡には石の効果が効いてないのか！？)



と、慌てたのもつかの間、巡が突然下着を
脱いで俺に叫んだ
「ホラっよく見なさい！この菊の紋所が
眼に入らぬか〜っ！」

こちらに向けられた巡の可愛らしいお尻。
ちょっと濃い目のココア色をしたすぼまりが
外気にさらされてヒクヒクと震えていた。

「ははあ〜っ！！」
そのありがたい光景に思わず俺は平伏してしまう
(…どうやら巡にも魔法の石が効いたみたいだな)

「こ、これから風紀委員として君の取調べを
始めるから！私のお尻を見て反省しなさい！」

(……な、なんだかよくわからないけど
とにかくじっくりと眺めさせてもらおう！)



「ってコラ！いきなり何するの君は！」
気がつく俺は我慢できずに巡のお尻に
むしゃぶりついてた。
「ひゃんっ こら…だめだってば」
「やめないと後で酷いわよっ！あんっ」

ちよっ…
やめなさいっ

あっ…♡



ひゃあっ

しっ舌っ
入れちゃダメっ♡

んはあああっ…♡







「ほらっ…ま、巡のお尻で逮捕したわっ！」
「もうゼツタイ逃がさないんだからっ」





ビクッ

んああっ
ダメっ

あんっ…
はんっ…
♡

んっくう…
んんっ…
♡

あっ…

ビクッ

紀委員


員

んっ

ふああああっ
イツちやうっ
♡

「くっ…!巡っ!!!」

ドクッ



「はあ…はあ…どう？反省した？」
「これからまた不純異性交遊してたら
巡がおしおきしてあげるからねっ」

えどまえ


せとさん

江戸前 ルナ & 瀬戸 燦

「永澄さん…私…永澄さんのお嫁さんじゃきん
なんでも好きなことして欲しいんよ…」



「まったく下僕のくせして一人前に
性欲なんでもってんじゃないわよ！
しょうがないから私様がサービス
してあげるわっ！」



「な…永澄さん…これでええの？
なんや恥ずかしいわあ…」

ポーン
ツム

ヒッ
ヒッ

(さ…燦ちゃんとルナちゃんのダブルお尻！な、なんて
素晴らしい光景なんだっ…！)

「あんまジロジロ見てんじゃないわよっ
私様のおしりが見られるなんて
アンタにはもったいない光栄な事
なのよっ！」

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

ハイッ
ハイッ

キ
キ
キ

(たしかにトップアイドルのルナちゃんの
こんな格好なんて絶対見れないよなあ…)

さっそく二人の肛門を好きなだけ
イタズラさせてもらった。

ヒョ
ッ
んっ…

「あん…永澄さん…
そんなトコ指いたらあかんよ…♥」

んくっ

「あ…アンタマジ変態ねっ！」

きゅんきゅん

きゅんきゅん

二人の肛門に差し込んだ指を動かすたびに
きゅんきゅんと締めつけられる。
(くうっ…!た、楽しすぎるっ)

「んむ…ん…永澄さん…気持ちええ…？」

「なんでアンタのチンポなんて舐めなきゃいけないのよっ！」
「んむっ…はむっ…」

ちよつと！
私様にも
飲ませなさいよっ

はむっ♡

んむうっ…んんっ♡

んもおつ
私様にも生チンポ
入れなさいよっ

ふあんっ♡

ズッ
ズッ
ズッ

あんっ…
はあんっ…♡

やつ…ん♡

順番に
どっちも
入れるからっ

あんっ♡

あっ♡

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

んああああつ
おしりイクっ♡

ビ
ク
ツ

ビ
ク
ツ

ビ
ク
ツ

ビ
ク
ツ

なつ永澄さんっ
私がイクとこ
見んといてえっ♡

ビ
ク
ツ

はあああああつん♡

ビ
ク
ツ

ビ
ク
ツ





永澄君……



永澄君の
バカあああああつ！

ぐっはあああつ

BAD END

もう一度フラグを確認してみよう！何か人として致命的なことをしていないだろうか？！

■あしがき

という事で瀬戸の花嫁おもしれー。アニメ見て笑いころげたのは久々でした。巡もあけのんも燦ちゃんもルナちゃんもみんな可愛いよ！僕はとても1人だけなんて選べないよ！だからみんな一緒に気持ちよくなろうぜ！的にこの本は作られました。委員長も描ければ描きたかったんですけどね～ではまた、次の本でお会いしましょう

■奥付

発行：2007・12・31 印刷：ねこのしっぽ
VOLTCOMPANY / 旭丸
mail:volt@nona.dti.ne.jp
HP:http://www.nona.dti.ne.jp/^volt/index2.html
「深海60000」

VOLTCOMPANY.

